

Economy and Tourism

経済・観光

豊かな実りを生み出す農業、さまざまな製品やサービスを供給する商工業、まちの魅力を伝える観光。東松山市の産業や観光は生き生き・元氣・前向きです。



■ 青年農業者

■ 秋の味覚を楽しめる観光梨園
市内では9月～10月にかけて、豊水、新高などの梨が収穫期を迎え、風味豊かなみずみずしい梨を味わえます。



■ 地域通貨「ぼたん圓」
市内約300店舗で利用することができ、地域のコミュニティや経済の活性化に役立っています。



■ 坂東山に新たにできた葛袋産業団地
約28haの敷地には、企業誘致により食品製造工場や物流・配送センターが立地しました。

■ 東松山工業団地内の製造業
東松山工業団地（東松山市分）には、製造業など約50社が操業し、地域の雇用の確保や経済の活性化に大きく貢献しています。



■ 新たな農産物の栽培
ポロタンやオリーブの栽培を進め、これらを使ったスイーツなどの加工品の開発にも取り組んでいます。



Dynamic Community Development

In the City, traditional agriculture, such as wet-rice farming and cultivation of pears and chestnuts, has been conducted. In addition to them, the City also engages in the production of Porotan, a new variety of chestnut, and olive oil, the commercialization of local fruit sweets, and market expansion. For commerce, it strives to create new charm of the City by developing environmentally friendly shopping promenades and holding various events. For industry, the City promotes the establishment new business facilities in collaboration with existing companies, including the Higashimatsuyama Industrial Park. For tourism, the City becomes crowded with visitors during the Peony Festival, Summer Festival, and Japan Three-Day March. Old shrines and temples also attract many visitors on New Year's Day and when a votive tablet market (Ema Ichi) is held. There are also many healing locations that attract many visitors, such as the Saitama Children's Zoo featuring koalas.

活力ある地域づくり

東松山市は、昔から水稲や梨・栗・花きなど、伝統のある農業が続けられてきました。現在はそれらに加え、栗の新品種・ポロタンやオリーブの産地化や、地場産農産物を原料にしたスイーツの商品化、東京近郊という立地条件を生かした販路の拡大に取り組みなど、農業における新時代の幕開けを迎えています。

商業では、「100円商店街お宝市」など、商店街に親しんでもらうためのイベントや商店街のエコ化など、新たな魅力づくりに取り組んでいます。

工業では、東松山工業団地をはじめとする既存企業との連携や支援とともに、新たな企業立地を推進しています。

また、観光では、花の魅力を堪能できるぼたんまつり、山車や神輿が盛り上げる夏祭り、市内がウォーカー一色に染まる日本スライダーマーケットといったイベントが賑わいを見せています。初詣や絵馬市などで信仰を集める古社・古刹をはじめ、コアラやペンギンの愛らしい姿に会える県こども動物自然公園、都幾川の清流や市民の森などの癒しのスポットも大勢の人に親しまれています。

地元愛×活力

100円商店街お宝市



東松山逸品の会代表
伊藤 吉幸さん
Yoshiyuki Ito



商店街の活性化を目指す逸品の会は、東松山や自分の店の魅力を見直し、商品やサービスが独自の逸品となるよう活動しています。ただ商品売るだけでなく、のぞき見ツアーやニューイヤークンサート、逸品カタログの発行などを通して、お客様と交流を図ってきました。お客様とやって個々の店がさらに魅力を磨くことで、お客様が増え、商店街が活性化し、ひいてはまち全体が元気になるのではないかと考えています。

商店街では、100円商店街お宝市やまちバル、まちゼミなど、新しい試みも始まっています。逸品の会もこうした企画に積極的に参加して、商店街の賑わいを取り戻そうと頑張っている方たちと一緒に汗をかいていきたいですね。

Love for Hometown: Vigor

With the aim of revitalizing shopping promenades in the City, we, the members of the Ippin no Kai (literally, group of hallmark products), review the charm of Higashimatsuyama and our own stores and carry on activities to make our products and services better and unique. We do not simply sell products, but strive to build good relationships with customers. We aim to increase customers, revitalize shopping promenades, and ultimately enliven the entire City by enhancing the charm of each store through new efforts, such as Machi-bar events.